

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

アンドロゲン除去療法が骨微細構造に与える影響に関する臨床的検討

研究計画

(1) 背景・意義

ADT が骨質に与える影響に関しては十分な検討がなされていない。

(2) 目的

前立腺がん患者を対象とし、ADT 施行前後の骨微細構造の変化を明らかにする。

(3) 方法

- 1) 対象: 2022年9月～2024年8月にDXAによる骨密度測定をADT施行前後に測定された前立腺がん患者
- 2) 海綿骨構造指標(Trabecular Bone Score, TBS): Medimaps Group社製ソフトウェアTBS®を用いて、骨微細構造を解析する。TBS測定間隔はADT開始時、6ヶ月、1年後とする。
- 3) 骨密度(BMD)、腰椎圧迫骨折(LVA)との筆禍得検討を行う。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

PHS 3017